

中丹地域医療構想調整会議に係る今後の会議の進め方（案）について

1 各市部会の継続開催

【主 旨】

- ① 各市部会で上げられた課題については、各市ごとに議論が必要なもの、広域的に検討する必要があるものがあり、引続き、中丹圏域全体と各市ごとの議論が効果的と考えられること。
- ② 地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）に示された「回復期・慢性期機能の充実」に向けた具体的な道筋を協議する必要があるが、病床機能のバランスが各市で違うことから、まずは各市ごとでの議論を踏まえて進めていく必要があること。

2 医療と介護の連携状況についての調査の実施

【主 旨】

- ① 医療と介護の連携が今後ますます重要となってくる中で、入退院時の医療・介護連携を報酬面で推進するとともに、平時からの連携強化が制度的に推進されている。
- ② 医療（病院）と介護（ケアマネジャー）との連携、情報提供に当たっては、府医師会、府介護支援専門員会が作成した情報提供書様式や中丹東保健所が策定した入退院連携マニュアル（中丹東圏域版）など様々な連携ツールがあり、それぞれ活用されているところ。
- ③ 改めて、病院とケアマネジャー等に対し入退院時の連携状況のアンケート調査を実施し、入退院調整の現状把握及び課題抽出を行うとともに、市域を越えた連携を構築するための材料とする。

【アンケートの概要案】

① 対象

中丹圏域の全ての病院、ケアマネ事業所、地域包括支援センター、訪問看護ステーション等

② 内容

病院、ケアマネジャーからの連絡の有無・時期、退院調整の方法、必要な情報の有無、使用している情報提供書様式、情報提供様式の修正すべき部分、困ったこと・問題となった事例、要介護認定前の場合の対応、等

③ 実施時期

31年2月～3月で実施を検討